



あすなる



みんな おなじ

校長 鈴木 華奈子

12月の全校朝会「おなじってなんだろう」子どもたちと一緒に考えます。



「みんなでおやつ。いただきます！」
「あれ？悲しそうな顔の子がいるね。どうしたんだろう」「あの子だけおやつが少ないから」「みんな同じ数になればいい！」「これで、みんなおなじ。」



「みんなでおでかけ。いろんな動物を見ることができ
るね。」「ん？悲しそうな声がきこえるよ。泣いてる？」
「この子、壁が高く動物が見えないんだ。」
「この子に高い台をあげればいい！」「これで、みんな
おなじ。」



どの子にも分け隔てなく、同じおやつが同じ量ずつ配られる「おなじ」
見えていない子も見えるように、高さの違う台が用意される「おなじ」

ふたつの「おなじ」は、ちょっと違います。何がちがうのでしょうか。

「おやつの際は、みんな同じものを同じだけあげるのがいいってみんな言ってたよね。動物園の時は、この子にだけ高い台をあげるのがいいってなったけど・・・みんなに同じ高さの台じゃなくていいの？この子だけ特別！ひいき！ずるい！にはならない？」

子どもたちが後で話をきかせてくれました。

「その人だけ得するようなのは“ずる”だしイヤ。けど、あれは悲しんでいる子が助かる台でしょ。みんなが『できた！』になるのはうれしいから、いいんだ。」

“みんなが〇〇できた！”になるための特別な配慮は、特別ではなく当たり前だと子どもたちは受け止めていました。「いただきます」の時のようなスタートでのみんな「おなじ」と「見えた！できた！」の時のようなゴールでのみんな「おなじ」、どちらの「おなじ」もみんなの幸せには大切だと子どもたちは知っていました。

スタートでの「おなじ」を「平等」というなら、ゴールでの「おなじ」には、その人の状況に応じた配慮（合理的配慮）がある「公平」といえるのかもしれませんが。「みんなができた！」になるための個々へ配慮は、普段から子どもたちどうしの関わりの中でもみられます。いろんな人がいるからこそ、みんなで2つの「おなじ」、平等と公平を意識しつづけることが大切だと感じているのだと思います。『『誰か』のことじゃない 12月4日～10日 人権週間』にあわせ、学校では、差別・いじめ・平等・公平等・人権に関する授業も行いました。子どもたちと考え続けていきます。

県教育委員会から、以下の案内が来ています。ぜひご覧ください。

県教育委員会
教育広報誌
『かけはし』



あすなろフェスティバルで学級の絆を深めよう！

児童会担当

11月29日（金）、「あすなろフェスティバル」を行いました。この行事を通して、楽しい学校生活を築いていこうとする態度を育てることや、学級でお店を開くことで学級の仲間との絆を深めることをねらいとして、あすなろ委員会主催で行われました。

2～6年生の各学級がお店を開き、ペア学年の友達と一緒にお店を回りました。「ゴミを出さない」「学校にあるものを活用する」というあすなろ委員会の提案のもと、2年1組は「ボーツリング2」、2年2組は「ブラックボックス」、3年生は「10秒チャレンジ」、4年生は「みんなで協力！リレービンゴ!」、5年生は「なぞときラリー」、6年1組は「手と手のナゾを解け！人間知恵のWA」、6年2組は「東っ子No.1に輝け！ムシン記録に挑戦」と、各学級が趣向を凝らしたお店となりました。さらに、今年はPTA会長団による「アカモンに挑め！」も加わり、大盛り上がりのフェスティバルとなりました。時間が限られていたため、全てのお店を回ることができず「もっと回りたかった」という声もありましたが、子どもたちの表情は笑顔でいっぱいでした。その姿を見ると、子どもたちにとって思い出に残る行事の一つになったのではないかと思います。

参観にお越しいただいた保護者の皆様、温かい声掛けや一緒に楽しんでいただいたことは、子どもたちの励みとなりました。ありがとうございました。



一人一人が安心できる学校に… いじめ見逃しゼロ強調月間

生活指導主任

11月は、第2回いじめ見逃しゼロ強調月間です。この期間に、いじめアンケートや教育相談（スマイルタイム）等の取組を実施しました。その中の一つの取組として、11月12日（火）に、生活向上委員会が中心となって企画した「第2回いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。

まず、いじめを無くす学年一取組について、実際に活動してきた内容や学級の様子、現在も継続して取り組んでいることなどを紹介しました。あたたかい言葉のリレーで関わることや、友達のがんばりやよいところを見付け伝え合う活動を継続しています。また、異学年で構成されているなかよしあすなろ班で、ジェスチャー伝言ゲームをしました。各班の6年生が考えた、班で仲良くなるための合言葉をジェスチャーと言葉で伝えていきました。「いつでもたの4

（し）くよろ4（し）く4班」や「い（1）つもに（2）っこり12班」などの合言葉を、相手の目線に合わせてジェスチャーをしながら伝えることで、みんなに優しい笑顔が広がりました。これからも一人一人が安心して気持ちよく過ごせるように、「みんなスマイル東小～一人一人を大切にしよう大作戦」を続けていきます。

